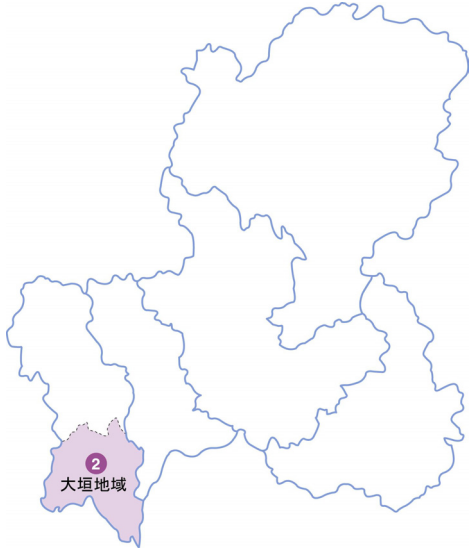


② 大垣地域			
<p>■ 該当市町村</p> <p>大垣市、海津市、養老町、上石津町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、墨俣町</p>		<p>■ 区域</p> 	
<p>■ 景観上の特性</p>			
<p>地形・自然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西部には、市街地の背景となる伊吹山地、養老山地がそびえる。 ・ 南東部にかけては、濃尾平野が広がり、田園と輪中が見られる。 ・ 東部に、長良川、揖斐川、木曾川が流れる。 	<p>土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木曾三川合流部には国営木曾三川公園が位置する。 ・ 関ヶ原古戦場、美濃国分寺、不破関跡、養老の滝等の歴史・文化的要素が点在する。 ・ 関ヶ原は名神高速道路、J R 東海道本線、国道 21 号が東西に通る交通の要衝となっており、県の西の入り口となっている。 ・ 地域の北西部に市街地が形成されている。
<p>軸線</p>	<p>地域の骨格を形成する軸線として、次のものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川：長良川、揖斐川、木曾川 ・ 道路：名神高速自動車道、東海環状自動車道（計画）、国道 21 号、258 号、365 号、417 号 ・ 鉄道：J R 東海道新幹線、東海道本線、近鉄養老線 		

■ 景観構造図

大垣地域



凡例

- | | | | | |
|---|---|--|--|--|
| 山間エリア | 谷・盆地エリア | 平野エリア | 河川 | 河川景観 |
| 鉄道 | 高速道路 | 国道 | 街道 | 山並み |
| 自然公園 | 田園・群生地等、大規模開発地等 | 歴史・伝統文化的要素、その他の拠点等 | | |

■景観形成方針

①木曾三川合流部の雄大な水辺景観の保全

- ・木曾三川合流部では、国営木曾三川公園が設けられるとともに自然公園にも指定され、水と緑が調和した雄大な水辺景観が見られる。
- ・また、合流部の水郷地帯では、全国的にも珍しい輪中が形成されている。
- ・このような雄大な水辺景観や輪中景観を保全していくことが必要である。

木曾三川合流部



②点在する名所・旧跡を活かした歴史的・文化的景観の形成

- ・地域には、関ヶ原古戦場、美濃国分寺、不破関跡、南宮大社、養老の滝、日吉神社等多くの歴史的な名所・旧跡が点在している。
- ・これらの点在する名所・旧跡を保全するとともに相互に関連づけ、古代から近世にかけて東西文化の回廊となった地域として歴史的・文化的景観の形成が必要である。

南宮大社



③伊吹山地、養老山地の山並みの景観の保全

- ・木曾三川が流れる平野部の市街地や田園から見える伊吹山地、養老山地等は、国定公園や県立自然公園の指定を受けてその自然環境が保全されており、季節感豊かな山並みの景観を形成している。
- ・この周辺の土地利用に当たっては山の稜線への配慮を図ることにより、季節感豊かな山並みの景観を保全することが必要である。

伊吹山



④商業地区における市街地景観の形成

- ・大垣駅周辺の商店街をはじめとした商業地区においては、街路樹等により緑化を進めるとともに、まちを歩く人の視線の高さに立った景観を考慮し、歩道に面した商店の看板や店舗外壁の意匠等に配慮しつつ、市街地景観の形成を図ることが必要である。

大垣駅周辺



⑤周辺環境に調和した工業施設の景観の形成

- ・大垣市の市街地においては、河川沿いや鉄道沿線に大規模工場が多く立地している。
- ・このような市街地の工業施設については、周辺に与える圧迫感を軽くするために、敷地の緑化や、塀や外壁のセットバック、外壁の意匠を工夫することによって、周辺環境に調和した景観の形成が必要である。

敷地内を緑化した工場



⑥大規模工場跡地等の土地利用転換に伴う景観への配慮

- ・大垣市においては、紡績工場等の跡地に大規模商業施設等の計画がされるなど、土地利用転換が進められつつある。
- ・工場跡地については敷地規模や建築物の規模の大きさから土地利用転換に伴う景観の変化も大きく、また新しくできる建築物の形態や意匠が周辺環境に与える影響が大きいため、周辺環境に調和した景観の形成を図ることが必要である。

工場跡地利用（宅地開発）



⑦市街地周辺に広がる田園景観の保全

- ・濃尾平野の一部であるこの地域では、市街地の周辺、特に揖斐川周辺に田園が広がり、田園に囲まれるように住宅の集まりがみられる。
- ・田園に囲まれた集落において、田園との調和を意識した景観形成が必要である。
- ・田園景観のなかでも、大垣市から海津市にかけては、水屋建築や輪中堤など輪中景観がみられ、これらの保全を図ることが必要である。

水屋建築



⑧市街地における良好な河川景観の形成

- ・大垣市の都心部における水門川等では、人と水と緑の関わりあいに配慮した河川の修景整備が行われている。
- ・身近な場所に親水性に配慮したポケットパーク等を設置するなど、今後とも市街地における河川の修景整備を進めることにより、良好な河川景観の形成を図る必要がある。

水門川



⑨中山道の宿場を活かした歴史的景観の形成

- ・北部を中山道が通り、近江路に繋がる交通の要衝として栄えた赤坂、垂井、関ヶ原、今須の宿場では、赤坂のお嫁入り普請の建物や港跡、今須の間屋場跡等、当時の建物や石碑が数多く残されている。
- ・このような中山道沿いの宿場に残る建物等の保全を図りつつ、これらを活かした歴史的景観の形成を図ることが必要である。

垂井宿



⑩市街地における歴史的資源を活かした景観の形成

- ・大垣市は、大垣城による城下町としてその礎が築かれ、周辺地区は現在の中心市街地になっている。大垣城の周辺は大垣公園として整備され、市民の憩いの場となっているが、平城であるために遠方からの眺望を確保することは難しい。
- ・このため周辺での土地利用に当たっては、このような歴史的資源の眺望に配慮する等、市街地における歴史的資源を活かした景観の形成を図ることが必要である。

大垣城



⑪情報産業拠点にふさわしい都市景観の形成

- ・大垣地域には、県が進めるスマートバレー構想の拠点であるソフトピアジャパンがあり、県や市、民間企業等の情報産業に関する研究開発施設、教育機関等が集積し、新しい都市景観を形成している。
- ・ソフトピアジャパン周辺の環境に配慮し、情報産業拠点にふさわしい現代的な都市景観の形成を図る必要がある。

ソフトピアジャパン

